

正確な病理診断を全世界へ 病理AIのための基盤作り

国立がん研究センター先端医療開発センター 臨床腫瘍病理分野

病理診断AIの大きな問題

病院が変わるとAI使えないんだよな



理由

各病院で、病理標本の作製方法が少しずつ違うから

Project①

標準を作ろう！

各項目の条件を揃える



Project②

自動化しちゃおう！

それぞれの工程を
ロボットにしちゃおう



サクラファインテックジャパン株式会社との共同研究

目標：どこで開発されたAIも、どこの病院でも使える社会

正確な病理診断が世界中で！

診断治療の核となる病理診断の格差をなくすために！！

To the next generation